

犯罪から身を守るために

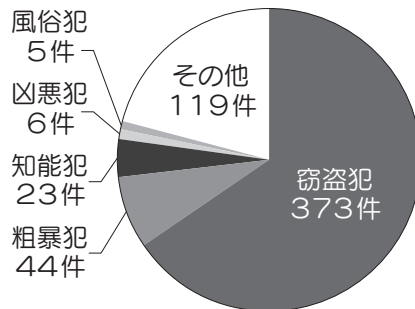
空き巣や車上ねらい、ひったくりなど、怖いけれど、どこかで自分は大丈夫と思っていませんか。北見市と訓子府町、置戸町を管轄する北見警察署では、平成27年1月から12月の1年間に570件の刑法犯を認知しています。あなたや大切な家族がいつ犯罪に巻き込まれてもおかしくありません。昨年の車両防犯診断を基に、今回は車上ねらい対策について紹介します。

窃盗が圧倒的に多い

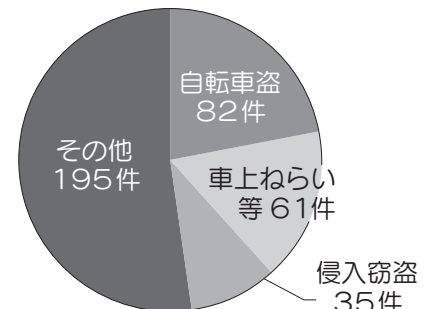
最も多く発生している刑法犯は、他人の物を盗む窃盗犯。昨年は373件と刑法犯全体の65%を占めています。

そして、窃盗犯の中では、自転車盗について多いのが車上ねらい等で、車内にある物や車の部品を盗む犯罪です。

昨年北見警察署管内で発生した犯罪の種類



窃盗犯の手口別内訳



<用語解説>・粗暴犯～暴行、傷害、恐喝・知能犯～詐欺、横領・凶悪犯～強盗、殺人、放火・風俗犯～賭博、強制わいせつ

昨年の車両防犯診断結果

昨年10月から11月にかけて防犯協会で行った診断の結果、エンジンキーが付いたままであったり、ドアロックがされていない車両が多く見受けられました。

防犯診断内容	境野地区	勝山地区	置戸地区
防犯診断実施車両台数	69台	64台	311台
エンジンキーが付いたまま	5台	3台	16台
ドアロックがされていない	16台	3台	29台
計	21台	6台	45台
割合	30.4%	9.4%	14.5%

車上ねらいを防ぐために

窃盗犯からすると無施錠の車から盗むのが一番簡単ですし、無施錠の車を見ると、盗む気持ちが無かった人でも魔がさしてしまう。つまり、犯罪を誘発してしまう可能性もあります。鍵かけは防犯の基本です。しかし、鍵をかけていても被害に遭う場合もあります。そこで次のことに注意しましょう。

① 車内に物を置かない！

犯人は鍵がかかっている車内にバッグなどがあれば、ガラスを割ってでも犯行に及びます。車内は必ず空っぽにしてください。



② 短時間でも必ず鍵をかける！

施錠していない車は真っ先に狙われます。

③ 駐車は明るく人目に付く場所に！

暗くて犯行が目立たない夕方から夜間にかけて被害が増加します。駐車の際は、明るく、通行人が多く、管理が行き届いている駐車場に止めましょう。

④ 音や光で威嚇する防犯機器が有効！

振動や人の動きを感知して警報音や光を発する防犯機器は、犯人を威嚇する効果があります。自宅敷地内での犯行を防ぐには、センサー付きライトや防犯カメラが有効です。